

令和7年度（2025年度）
京都市立芸術大学大学院音楽研究科（修士課程）入学試験問題
語学（英語）

A：以下の文を読んで設問に答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典：Titon, Jeff Todd. 2020. *Toward a Sound Ecology: New and Selected Essays*. Indiana: Indiana University Press, p.133-134. （一部改変）

- 1) 下線部(1) The Smithsonian Institution's Festival of America Folklife とはどのようなものであると本文では説明されているかについて、日本語で説明しなさい。
- 2) 下線部(2) outdoor と同じような意味で用いられている表現を本文中から抜き出しなさい。
- 3) 下線部(3)を日本語に訳しなさい。
- 4) 下線部(4) an audience にはどのような人々が含まれているのか、本文の内容を踏まえて日本語で説明しなさい。

B : 以下の文を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典 : Shelemy, Kay Kaufman. 2006. *Soundscapes: Exploring Music in a Changing World*. 2nd ed. New York: W.W. Norton, p. xlii. (一部改変)

令和7年度(2025年度)
京都市立芸術大学大学院音楽研究科入学試験
語学(ドイツ語)

I. 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典：Andrea Gehwolf, *Redaktion · Text · Konzeption* (一部改変)
< <https://www.andreagehwolf.de/daf-text-mein-musikinstrument-sprachniveau-b1/>>

問1 下線部①の語順を、下記の意味になるように正しく並べ替えなさい。ただし、文頭に来るべき単語も小文字で示してある。

「シュテファンの人生において、音楽は常にとっても大きな役割を果たしてきた。」

問2 (A) ~ (G) に当てはまる単語をそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- A:** (ア) was (イ) dass (ウ) wenn (エ) ob
B: (ア) seit (イ) bis (ウ) während (エ) wenn
C: (ア) als (イ) weil (ウ) dass (エ) was
D: (ア) wie (イ) von (ウ) für (エ) entweder
E: (ア) denen (イ) der (ウ) dem (エ) die
F: (ア) dem (イ) deren (ウ) die (エ) der
G: (ア) seines (イ) seiner (ウ) seine (エ) seinem

問3 下線部②を和訳しなさい。

問4 本文の内容に沿っているものには○を、沿っていないものには×をつけなさい。

- (1) シュテファンは、近くに住んでいた親戚の影響でドラムを始めた。
- (2) シュテファンは18歳の時、「Tristesse」というバンド名でCDデビューを果たした。
- (3) 「Narcotic」というバンドに在籍してきた時には、「Liquidido 1998」というタイトルの曲を発表し、世界的なヒット曲となった。
- (4) 世界的なヒットを飛ばしてバンドが有名になった際、特にシュテファンのドラム演奏が高く評価された。
- (5) 友人同士で組んだ「Unter Ferner Liefen」というバンドでは、家族と職場の理解を得て練習に専念することができた。

II. 次の文章を和訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典：Andrea Gehwolf, *Redaktion · Text · Konzeption* (一部改変)

<<https://www.andreageholf.de/daf-text-mein-musikinstrument-sprachniveau-b1/>>

令和7年度（2025年度）
京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程入学試験問題
語学（フランス語）

I 次の文章の下線部を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典：« Pierre Boulez et le gagaku »

Publié le 19 juillet 2018 — par Lambert Dousson

<https://philharmoniedeparis.fr/fr/magazine/series/pierre-boulez/pierre-boulez-et-le-gagaku>

II 次の文章の（ 1 ）～（ 5 ）に入れるのもっとも適切なものを、語群の動詞から選んで必要な形にして解答欄に書きなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

être	décider	finir	naître
ressentir	se mettre	tuer	visiter

出典： « 1 jour 1 actu », le 22 mai 2024

<https://www.1jour1actu.com/monde/taiwan-des-cours-pour-se-proteger-des-tremblements-de-terre>

III 次の日本語をフランス語に訳しなさい。

- (1) すぐに帰りたいです。
- (2) どうやってそこへ行けばいいかわかりません。
- (3) 昨日の夜は飲みすぎた。
- (4) 雨が降っているし、家にいることにします。
- (5) 早く起きようとは思っていませんでした。

令和7年度(2025年度)
京都市立芸術大学大学院音楽研究科(修士課程)入学試験問題
語学(イタリア語)

1. 以下の文章を読み設問に答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典: Gallico, Claudio. 1991. *Storia della Musica: L'età dell'Umanesimo e del Rinascimento*. Torino: EDT, p. 107.

- (1) 下線部(1)を訳しなさい。
- (2) 下線部(2)を訳しなさい。
- (3) 下線部(3)について、これらの楽器が「perfetti」である理由を文脈に則してわかりやすく述べなさい。

2. 以下の文章を読んで設問に答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典 : Salvetti, Guido. 2013. “ «Ho detto male di... Verdi». Saggio di ricezione negativa.” in *Rivista Italiana di Musicologia*, No. 48, p. 105.

(1) 下線部 (1) を訳しなさい。

(2) 下線部 (2) を訳しなさい。

(3) (A) から (D) に入る適切な語句をそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

A: (ア) nei (イ) dei (ウ) ai (エ) dai

B: (ア) alla (イ) per (ウ) al (エ) nel

C: (ア) ai (イ) nei (ウ) dei (エ) per

D: (ア) le (イ) i (ウ) gli (エ) per

次の文章を読んで、あとに記す設問に答えてください。

「今はむかし、国風の歌に、『いな物ぢや、こころは我がものなれど、ままにならぬは』と、高きも賤しきも、男も女も、老いたるも若きも、皆うたひ侍る。『思ふ事かなはねばこそ、うき世なれ』といふ歌も侍り。よろづにつけて、こころにかなはずままにならねばこそ、浮世とは言ふめれ。『沓をへだてて跟を搔く』とかや、痒きところに手のとどかぬごとく、当たるやうにして行きたらず、沈気なものにて、我ながら身も心も我がままにならで、いな物なり。まして世の中の事、ひとつも我が氣にかなふことなし。さればこそうき世なれ」と言へば、

「いや、その義理ではない。世に住めば、なにはにつけて善し悪しを見聞く事、みな面白く、一寸さきは闇なり、なんの糸瓜の皮、思ひ置きは腹の病、当座くんにやらして、月雪花紅葉にうちむかひ、歌をうたひ酒のみ、浮きに浮いてなぐさみ、手前のすり切りも苦にならず、沈みいらぬこころだての、水に流るる瓢箪のごとくなる、これを浮世と名づくるなり」

と言へるを、それ者は聞きて、
「誠にそれく」と感じけり。

（『浮世物語』巻第一「浮世といふ事」より）

【語注】

国風の歌―身近な風俗や習慣をよんだ和歌。

跟―足の裏。

沈気―じれったいこと。気が重たいこと。心気、辛気とも。なにはにつけて―何かにつけて。地名の「難波」とその縁語

「葭葦」（あし、よし）をかけた。

なんの糸瓜の皮―何も気にすることはない。

月雪花―月と雪と花。四季おりおりに楽しむよい眺め。雪月花とも。

手前のすり切り―お金を使い果たすこと。それ者―その道によく通じている人。

問一

二人の人物が、「うき世」ということばをどう理解するかを主張し、最終的に三人目の「それ者」が「誠にそれく」と言つて、一人目の理解より二人目の理解のほうがよいと賛同を寄せています。一人目の理解する「うき世」は、「浮世」と書かずに、別の文字であらわすと、一人目の理解することが明確になります。その別の文字として適切なものを次の選択肢から選んでください。

- (ア) 有喜世 (イ) 憂き世 (ウ) 雨季代

問二

十二行目の「義理」の意味として適切なものを、次の選択肢から、すべて選んでください。

- (ア) 面目、体面 (イ) 意味、内容 (ウ) 血縁のような関係
- (エ) 物事の道筋 (オ) 社交的な口上、おべっか

問三

全文をわかりやすく現代語に訳してください。